

15 地域コミュニティの醸成			
主管課名	生活文化スポーツ部 協働推進課		
主管課長名	萩原 治	電話番号	042-481-7123
関係課名 (組織順)	総合防災安全課, 文化生涯学習課, 福祉総務課, 緑と公園課, 都市計画課, 教育総務課, 社会教育課, 公民館		
目的	対象	市民, 地域コミュニティ, 市民活動団体	
	意図	コミュニティ活動が活発に行われるようになる, 地域の一員としての連帯感を持つことができる	
施策の方向	市民が地域活動などに積極的に参加し, 市民同士の交流が促進できるよう, 地域コミュニティの形成を支援します。また, 地域の課題などについて, 自分たちで取り組み, 解決できるよう環境づくりを行います。		

< 施策と関連するSDGsの目標（ゴール） >



1 令和2年度の振り返り — 取組実績 (DO)

施策の成果向上に向けた主な取組実績	
施策における2つのアクション（①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信）	
<p>(15-1 地域コミュニティの活性化に向けた支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内小学校における避難所開設訓練の報告会において, 市内における情報共有を図ることを目的として, 地区協議会のほか, 未設立地区の自治会に参加を依頼することで, 地域コミュニティの交流を促進した。 調布市自治会連合協議会との協働により自治会相談会を実施するとともに, 自治会活動の紹介や加入自治会に対して災害時に活用可能な携帯ラジオを配布するなど, 地域課題の解決に向けた環境づくりを推進した。 	
<p>①横断的連携による施策の推進</p> <p>■連携テーマ1「地域共生社会の実現に向けた取組」</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年台風第19号の教訓を踏まえ, 地区協議会と災害時等における「情報共有体制の構築」について, 課題として共有するとともに, 対策の一つとして, 地区協議会内の緊急時における連絡体制の整備（メーリングリストの作成）を行った。 今後の自治会の在り方や, 自治会支援方法の検討資料とするため, 調布市自治会連合協議会との協働により, 無作為抽出による3000人を対象としたアンケート調査を実施した。 	
<p>(15-2 地域コミュニティ活動の場づくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共建築物維持保全計画を踏まえ, 入間地域福祉センターでバリアフリー化を含めた大規模改修工事を実施するとともに, 染地地域福祉センターにおいて, 手摺りの設置, 段差解消に向けた改修を実施したほか, 東部及び上石原ふれあいの家の外壁等の改修工事を実施するなど, 施設の機能向上を図った。 施設の安定した管理・運営を行うため, 国領・富士見2施設のふれあいの家の借地について, 用地取得を行った。 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として, 各施設に換気機能を確保するため網戸を設置したほか, 飛沫防止用のアクリル板や非接触型体温計の配備など, 利用者の安全確保に努めた。 	
<p>①横断的連携による施策の推進</p> <p>■連携テーマ1「地域共生社会の実現に向けた取組」</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の自治会等で構成されているふれあいの家運営委員会の負担軽減と安定した管理運営を行うため, 運営委員会と検討のうえ, 鍵の受渡しを不要とする電子錠（スマートロック）を導入した。併せて機能の向上を図るため, 下布田ふれあいの家のトイレを洋式化した。これにより, 全ふれあいの家のトイレの洋式化が完了した。 	
<p>(15-3 地域コミュニティ活動への参加の促進)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から, 「えんがわフェスタ」及び「まち活フェスタ」をオンライン（YouTube）で開催し, コロナ禍においても, 市民, 地域が主体となったまちづくり活動の活性化を推進した。 様々な地域活動の広報, 交流のきっかけづくりとするため, 地域活動情報紙「じょいなす」を発行するとともに, ちょうふ地域コミュニティサイト「ちょみっと」と連携した地域活動の情報発信を行うことで, 広報媒体の相乗的な活用による参加促進を図った。 	
<p>①横断的連携による施策の推進</p> <p>■連携テーマ1「地域共生社会の実現に向けた取組」</p> <ul style="list-style-type: none"> まち活フェスタの実施については, 多世代の誰でも楽しめる交流イベントとして, 市内活動団体等で構成された実行委員会が企画運営を行った。また, 相互友好協力協定大学が参加するなど, 文化生涯学習課と連携し, 市民活動支援センターの共催事業として実施した。 コロナ禍の中, 地域活動応援特集号として, 地域コミュニティ団体だけでなく飲食店など中小事業者を情報紙「じょいなす」で紹介。調布市自治会連合協議会, 地区協議会を含めた約35団体の協力による紙面作成を行った。 	

<令和2年度における施策の成果についての総括>

- ・新型コロナウイルス感染症対策として、「調布市公共施設の開館・利用における感染拡大防止ガイドライン」に基づき、利用者の安全確保に努めながら、施設・活動内容に応じた施設運営を行ったほか、安定した施設運営を行うため、借地の用地取得や計画的な施設更新・バリアフリー化等を実施した。
- ・地域コミュニティの活性化に向けた支援では、新型コロナウイルス感染拡大防止と地域活動の両立を図るため、地域での会議や行事等実施の参考としていただくための基本的対策や留意点をまとめた「調布市地域活動ガイド」を作成した。また、台風19号の教訓を踏まえ、地区協議会・自治会連合協議会と協働の下、災害時等における連絡体制について協議を行うなど、地域課題の解決に向けた取組を推進した。

まちづくり指標	基準値 (基準年度)	単位	実績値		目標値 令和4年度
			令和元年度	令和2年度	
1 地域の一員としての連帯感を感じている市民の割合	35.8 (H30)	%	31.4	31.1	50.0
2 地域コミュニティ施設の利用件数 (上段：地域福祉センター、下段：ふれあいの家)	2万6,512 1万3,464 (H29)	件	2万6,005 1万3,404	1万2,745 8,506	2万9,000 1万5,000
3 地域活動に参加している市民の割合	26.4 (H30)	%	22.7	16.8	33.0
【特記事項】					

2 基本計画事業取組実績

計画コード	49	重点P	—	—
事務事業	地区協議会の設立と支援			
所管部署	生活文化スポーツ部・協働推進課・参加協働推進係			
計画目標	令和2年度			
	(計画)	(当初予算)	(決算・実績)	
活動内容	○全20小学校区において、地区協議会の設立と活動支援	○地区協議会未設立地区の設立に向けた支援 ○地区協議会の活動支援	○地区協議会未設立地区の設立に向けた支援 ○地区協議会の活動支援	○地区協議会未設立地区支援に向けた支援 ○地区協議会の活動支援
	事業費 (千円)	8,988	8,987	6,593
債務負担行為等による用地取得費	0	0	0	

計画コード	50	重点P	—	—
事務事業	ふれあいの家の整備			
所管部署	生活文化スポーツ部・協働推進課・地域コミュニティ係			
計画目標	令和2年度			
	(計画)	(当初予算)	(決算・実績)	
活動内容	○ふれあいの家の整備によるコミュニティ活動の活性化	○既存施設の維持保全	○既存施設の維持保全 ○国領第二ふれあいの家用地取得	○既存施設の維持保全 ○国領第二ふれあいの家用地取得 ○富士見町ふれあいの家用地取得
	事業費 (千円)	9,545	104,192	192,641
債務負担行為等による用地取得費	0	0	0	

計画コード	51	重点P	-	-
事務事業	市民活動支援センターの運営			
所管部署	生活文化スポーツ部・協働推進課・参加協働推進係			
活動内容	計画目標	令和2年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○センター事業を通じた自主的な市民活動・地域活動のさらなる活性化の促進	○センター事業の実施 ・情報の収集・提供 ・相談・交流・啓発事業 ・市民活動・地域支援活動の充実検討	○センター事業の実施 ・情報の収集・提供 ・相談・交流・啓発事業 ・市民活動・地域支援活動の充実検討	○センター事業の実施 ・情報の収集・提供 ・相談・交流・啓発事業 ・市民活動・地域支援活動の充実検討
		○運営団体の運営方法等の検討	○運営団体の運営方法等の検討	○運営団体の運営方法等の検討
	事業費 (千円)	21,949	21,524	19,727
債務負担行為等による用地取得費	0	0	0	

16 活力ある産業の推進			
主管課名	生活文化スポーツ部 産業振興課		
主管課長名	伊東 良之	電話番号	042-481-7176
関係課名 (組織順)	文化生涯学習課, 街づくり事業課		
目的	対象	消費者, 事業者, 起業家	
	意図	商店街がにぎわう・市内消費が高まる, 企業活動が活発になる・市内の起業家が増える	
施策の方向	商店街の環境整備を促進し, その魅力を高めることで, 魅力ある商店街づくりと市民の日常的な買物の利便性及び満足度を向上させます。また, 地域経済を支えている中小企業・小規模事業者の振興や創業支援を行うとともに, 調布市の特性を生かした市内産業の活性化を図ります。		

< 施策と関連するSDGsの目標（ゴール） >



1 令和2年度の振り返り — 取組実績 (DO)

施策の成果向上に向けた主な取組実績	
施策における2つのアクション（①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信）	
<p>(16-1 にぎわいを創出する商業活性化の支援)</p> <p>・商店会支援については, 新型コロナウイルス感染症の影響により, 商店会が実施するイベント事業の中止（予定：18商店会26事業, 実績：6商店会6事業）が相次いだが, 実施可能な事業を積極的に支援し, 地域経済の回復に少しでもつながるよう取り組んだ。また, 商店会支援の一環として, 商店街の街路灯に係る電気料金の補助について, 補助率を上乗せし, 負担軽減を図った。</p>	<p>①横断的連携による施策の推進</p> <p>■連携テーマ2 「にぎわいとうるおいのあるまちづくり」</p> <p>・例年に比べ, 新型コロナウイルス感染症の影響により, 開催頻度が減少したが, 調布市商工会をはじめ, 市内商店会やトリエ京王調布, 調布PARCO等の大型商業施設と連携した調布駅前から盛り上げる会での意見交換による横断的連携を図り, 現状の把握や今後の施策展開の情報共有等に努めた。</p> <p>・地域経済の回復・活性化のためには, 市内商店街の存続が不可欠であることから, 商店街の街路灯の電気料金に係る補助を上乗せし, 財政面での負担軽減を図ることで, 各商店会がにぎわいの回復に向けた取組に集中できる環境作りに連携して取り組んだ。</p> <p>・調布青年会議所との共催による「我が家のおすすめテイクアウト」事業の実施や, 市内飲食店を市報で紹介するなど, 市内事業者と連携し, 地域経済の回復・活性化に向けた取組を実施した。</p>
<p>(16-2 バイ調布運動（市内消費）の促進)</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市民生活への支援と併せ, 市内消費喚起による事業者の支援及び地域経済の回復・活性化へつなげる緊急的な取組として, 商工会等と連携し, 過去に例のない規模により, 市内全事業所（要事前登録）で利用可能なスーパープレミアム付商品券（購入額に対し, 30%のプレミアムを付加）を発行し, 市内消費喚起につなげた。</p> <p>・バイ調布運動の一環として, 商工会が実施する調布市独自の「スクラッチカード事業」については, 商工会や金融機関で構成する地域経済対策会議での議論を経て, スーパープレミアム付商品券事業との両輪で実施することとし, 消費喚起効果を高めるため, 1億円の増額補正を行い, 取り組んだ。</p>	<p>①横断的連携による施策の推進</p> <p>■連携テーマ2 「にぎわいとうるおいのあるまちづくり」</p> <p>・社会経済活動の再開・回復に向けた施策の検討のため, 市内事業者, 金融機関等で構成される地域経済対策会議を設置し, 新型コロナウイルス感染症の影響等について, 当事者目線での市内事業者の現状と行政（国・東京都・市）が実施している支援策を相互に情報共有するとともに, 市内事業者向けの市独自の支援策の議論を行い, 市内消費喚起事業として, スーパープレミアム付商品券事業の実施とスクラッチカード事業の拡充実施を行うこととした。また, 市内事業所の経営状況や経営環境などについて調査し, 経営実態や特性を把握することを目的として, 事業所経営実態調査を実施した。調査結果や地域経済対策会議の議論結果は, 令和2年度の補正予算編成や令和3年度予算編成につなげ, 商品券事業やスクラッチカード事業などの消費喚起策や, 制度融資の拡充継続や感染症予防対策助成金事業などの事業継続に向けた支援策など, 市の実情に即した対応を図った。</p>

(16-3 市内事業所・事業者への支援)

・新型コロナウイルス感染症の影響により、経営に影響を受ける市内事業者の方を対象に、新型コロナウイルス感染症に係る相談窓口を開設したほか、緊急措置として、調布市中小企業事業資金融資あっせん条例を改正し、借入数増加や信用保証料の全額補助及び全額利子補給（当初3年間）など、中小企業事業資金融資あっせん制度の拡充を実施した。実績として、573件・38億5508万円の融資をあっせんした。

・市内中小企業等が実施する新型コロナウイルスの感染予防に係る工事や備品購入等の費用に対する助成事業（調布市商工会中小企業等新型コロナウイルス感染予防対策助成金）のほか、中小企業の家賃支援給付に取り組む調布市商工会を支援した。

①横断的連携による施策の推進

・社会経済活動の再開・回復に向けた施策の検討のため、市内事業者、金融機関等で構成される地域経済対策会議を設置し、新型コロナウイルス感染症の影響等について、当事者目線での市内事業者の現状と行政（国・都・市）が実施している支援策を相互に情報共有するとともに、市内事業者向けの市独自の支援策の議論を行い、給付型の事業として、商工会が実施する感染予防対策助成金と家賃支援給付金事業を支援し、連携して取り組むこととした。また、市内事業所の経営状況や経営環境などについて調査し、経営実態や特性を把握することを目的として、事業所経営実態調査を実施した。調査結果や地域経済対策会議の議論結果は、令和2年度の補正予算編成や令和3年度予算編成につなげ、商品券事業やスクラッチカード事業などの消費喚起策や、制度融資の拡充継続や感染症予防対策助成金事業などの事業継続に向けた支援策など、市の実情に即した対応を図った。

・中小企業等支援に関する包括協定を締結している5つの金融機関や商工会等とともに、事業承継・人材育成・補助金等各種セミナーを実施した。その他、生産性向上特別措置法に基づき、2件の先端設備導入計画を認定した。

(16-4 新たな創業への支援)

・経営アドバイザーによる創業相談を随時実施したほか、初心者向け創業相談会、女性起業相談会等を定期的に開催し、シニア向け創業相談も不定期で開催した。

・中小企業事業資金融資あっせん事業では、実績として、36件・2億1700万円余の開業融資をあっせんした。

・セミナーについては、創業塾をはじめとして、各種セミナーを3回実施し、28人参加があった。また、創業チャレンジ支援事業（市内空き店舗等を活用した創業支援）では、市内で創業した4事業者に対して支援を行った。

・国の産業競争力強化法に基づく調布市の特定創業支援事業（e-プロジェクト）では、相談事業・セミナーにおいて経営、財務、人材育成、販路拡大に関する知識を身につけた方に対し、知識を習得したことへの証明書を12件発行した。

①横断的連携による施策の推進

・日本政策金融公庫と連携した融資相談会を毎月開催するとともに、多摩信用金庫相談員による様々な経営課題の解決を目的とした創業経営相談として個別相談を実施した。

・東京都多摩地域事業引継ぎ支援センターの協力を得て、中小企業者における近年の課題である事業承継の個別相談を毎月開催するなど、相談事業の充実を図った。

(16-5 特性を生かした地場産業の振興)

・昭和48年から調布市を拠点に活動を続けてきた石原プロモーションが令和3年1月16日に解散したことを受けて、感謝の思いを込め、石原プロモーション制作のドラマや映画・音楽に関連した展示、グッズの販売等を行った。

・映画のまち調布応援キャラクター「ガチョウ」の市内イベントへの出演や、「ガチョウ」PR動画のシアタス調布のブロード（本編上映前の広告）上映を実施し、「映画のまち調布」の推進に取り組んだ。

①横断的連携による施策の推進**■連携テーマ2 「にぎわいとうるおいのあるまちづくり」**

・調布市観光協会との連携を中心に、深大寺をはじめとする寺社仏閣や、京王電鉄を核とした沿線他市との連携、東京観光財団の協力によるオンラインツアーの実施など、既存の観光事業の出来る限りの継続に努める中で、多様な主体と連携した新たな事業にも取り組んだ。

②調布のまちの魅力発信

・新型コロナウイルス感染症の影響により、発信機会は減少したが、観光協会の公式ホームページや市のホームページをはじめ、フェイスブックやツイッターなどのSNSによる情報発信を行った。

<令和2年度における施策の成果についての総括>

新型コロナウイルス感染症の影響により、計画策定当初の予定に基づく取組の実施が困難な状況であったが、地域経済対策会議の設置や事業所経営実態調査の実施により、市の実情の把握や緊急的な施策の検討につなげ、商工会をはじめとする多様な主体と連携しながら、緊急的な対応を図ることで、地域経済の回復・活性化に向けた取組を推進した。

市民生活及び市内事業者双方への支援としては、26億円規模のスーパープレミアム付商品券事業の実施や、商工会主催のスクラッチカード事業について、1億円の拡充支援を行い、市内消費喚起を図った。

市内事業者への支援については、新型コロナウイルス感染症に係る経営相談窓口を開設したほか、調布市中小企業事業資金融資あっせん条例を改正し、借入数増加や信用保証料の全額補助及び全額利子補給（当初3年間）など、中小企業事業資金融資あっせん制度の拡充を図った。また、商工会が実施する感染予防対策助成金と家賃支援給付金事業を支援し、連携して事業に取り組んだ。

創業者支援としては、市内での創業を促す取組として、相談会・創活塾等セミナーの充実を図ったほか、創業しようとする方、創業して間もない方で、空き店舗等を賃借して開業しようとする方に対し、その空き店舗等の賃借料の一部を補助する創業チャレンジ支援事業に取り組み、支援に努めた。

商店会支援については、新型コロナウイルス感染症の影響により、商店会が実施するイベント事業の中止が相次いだり、実施可能な事業を積極的に支援し、地域経済の回復に少しでもつながるよう取り組んだ。また、商店会支援の一

環として、商店街の街路灯に係る電気料金の補助について、補助率を上乘せし、負担軽減を図った。

令和2年度に策定予定だった(仮称)商業振興・活性化プランについては、次期総合計画期間内での策定も視野に入れながら、現基本計画期間内の令和4年度に進捗調整することとし、社会情勢も踏まえ、策定に向けて検討していく。

まちづくり指標	基準値 (基準年度)	単位	実績値		目標値
			令和元年度	令和2年度	令和4年度
1 日常の買物が便利と感じている市民の割合	73.8 (H30)	%	82.0	83.6	80.0
2 市内商業者(小売業)の年間販売額	2,114 (H29)	億円	-	-	2,254
3 納税法人数	6,073 (H29)	法人	6,303	6,409	6,100
4 産業労働支援センターでの創業等相談件数	488 (H29)	件	552	536	520
5 映画・映像関連企業と連携した取組の件数	35 (H29)	件	42	24	50
【特記事項】					

2 基本計画事業取組実績

計画コード	52	重点P	④	にぎわいと交流のある活気に満ちたまち
事務事業	商店街活性化の推進			
所管部署	生活文化スポーツ部・産業振興課・商業観光係			

活動内容	計画目標	令和2年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○商店街のにぎわいの創出のため、商店街の活性化を支援	○商店街のイベント支援 ○商店街の施設整備への支援 ○中心市街地活性化プランの推進 ○調布市商工会及び専門家と連携した商店街活性化支援 ○中心市街地活性化プランに代わる計画の策定	○商店街のイベント支援 ○商店街の施設整備への支援 ○中心市街地活性化プランの推進 ○調布市商工会及び専門家と連携した商店街活性化支援 ○(仮称)商業振興・活性化プランの策定	○商店街のイベント支援 ○商店街の施設整備への支援 ○中心市街地活性化プランの推進 ○調布市商工会及び専門家と連携した商店街活性化支援 ○調布青年会議所と連携した市内飲食店支援
	事業費(千円)	41,375	41,600	8,055
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0

計画コード	53	重点P	-	-
事務事業	調布市商工会事業の支援			
所管部署	生活文化スポーツ部・産業振興課・商業観光係			

活動内容	計画目標	令和2年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○調布市商工会の活動、運営の支援による市内商工業の活性化 ○「バイ調布運動」の促進	○調布市商工会の活動・運営支援 ○「バイ調布運動」の促進 ○東京2020大会を契機とした市内消費の促進	○調布市商工会の活動・運営支援 ○「バイ調布運動」の促進 ○東京2020大会を契機とした市内消費の促進※	○調布市商工会の活動・運営支援 ○「バイ調布運動」の促進・市内消費喚起策の拡充
	事業費(千円)	65,000	62,500	162,500
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0

計画コード	54	重点P	④	にぎわいと交流のある活気に満ちたまち
事務事業	中小企業・小規模事業者の支援			
所管部署	生活文化スポーツ部・産業振興課・産業労働支援係			
活動内容	計画目標	令和2年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○事業承継支援 ○創業・経営支援 ○人材育成支援	○経営課題の解決に向けた支援（事業承継・人材育成等の支援） ・中小企業向けセミナーの開催 ○中小企業事業資金融資あっせん事業 ○創業支援 ・専門家による事業所訪問 ・創業セミナーの開催 ○見本市等出展支援 ○調布市商工会事業の支援（再掲） ○商店街活性化の推進（再掲）	○経営課題の解決に向けた支援（事業承継・人材育成等の支援） ・中小企業向けセミナーの開催※ ○中小企業事業資金融資あっせん事業 ○創業支援 ・専門家による事業所訪問 ・創業セミナーの開催 ○見本市等出展支援※ ○調布市商工会事業の支援（再掲） ○商店街活性化の推進（再掲）	○経営課題の解決に向けた支援（事業承継・人材育成等の支援） ○中小企業事業資金融資あっせん事業・拡充 ○セーフティネット保証事業 ○創業・経営支援 ・専門家による創業、経営相談・セミナーの開催 ○調布市商工会事業の支援（再掲） ○商店街活性化の推進（再掲）
	事業費（千円）	48,273	48,259	92,260
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0

計画コード	55	重点P	-	-
事務事業	産業労働支援センターによる創業の支援			
所管部署	生活文化スポーツ部・産業振興課・産業労働支援係			
活動内容	計画目標	令和2年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○新たな創業の支援、経営課題解決に向けた支援	○創業経営相談 ○創業経営支援セミナー ○創業支援施設貸出 ○創業チャレンジ支援事業	○創業経営相談 ○創業経営支援セミナー ○創業支援施設貸出 ○創業チャレンジ支援事業	○創業経営相談 ○創業経営支援セミナー ○創業支援施設貸出 ○創業チャレンジ支援事業
	事業費（千円）	9,910	9,752	7,606
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0

17 魅力ある観光の振興			
主管課名	生活文化スポーツ部 産業振興課		
主管課長名	石坂 知之	電話番号	042-481-7179
関係課名 (組織順)	広報課, 文化生涯学習課, 環境政策課, 緑と公園課, 都市計画課, 図書館, 郷土博物館		
目的	対象	市民, 来訪者	
	意図	市民がまちに愛着と誇りを持つ, 多くの来街者が市内を回遊する	
施策の方向	地域資源の魅力の向上と積極的な活用により, 市民がまちに愛着と誇りを持ち, 多くの来訪者からも訪れたいと思われる, にぎわいのあるまちづくりを進めます。		

< 施策と関連するSDGsの目標（ゴール） >



1 令和2年度の振り返り — 取組実績 (DO)

施策の成果向上に向けた主な取組実績	
施策における2つのアクション (①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信)	
(17-1 「映画のまち調布」の推進)	<p>・市長会の補助金を活用して, 民間事業者や狛江市・日の出町と連携した官民一体のロケツーリズム施策を展開したほか, 新型コロナウイルスの感染防止策を徹底した中でフィルムコミッション事業を推進し, 例年と同程度の撮影実績を残すことができた。また, 観光庁の補助金を活用して, 調布市を舞台に撮影された映画「花束みたいな恋をした」やこれまでのドラマ等の撮影実績を生かした新たなロケツーリズムコンテンツの制作に取り組んだ。</p> <p>・調布市を拠点として活動を行ってきた石原プロモーションの解散を受け, 石原プロモーション制作のドラマや映画・音楽に関連した展示・グッズの販売等を行い, 「映画のまち調布」の推進につなげた。</p>
①横断的連携による施策の推進	<p>■連携テーマ2「にぎわいとるおいのあるまちづくり」</p> <p>・映画・映像関連企業や団体との連携による「映画のまち調布」を推進した。</p> <p>・近隣自治体や民間事業者等との連携によるロケツーリズムに取り組んだ。</p>
②調布のまちの魅力発信	<p>・新型コロナウイルス感染症の影響下においても, 2つの撮影所をはじめ, 40社以上の映画・映像関連企業が集積する「映画のまち調布」をPRするとともに, 感染拡大防止策を講じた上での積極的なフィルムコミッションの取組によるロケツーリズムを推進した。</p>
(17-2 地域資源を活用したにぎわいの創出)	<p>・新型コロナウイルス感染症の影響により, 観光振興施策の推進が困難な状況であったが, 創意工夫を講じて実施可能な事業について, 感染防止策を徹底して取り組んだほか, 観光振興の中心的な役割を担う調布市観光協会をはじめ, 多様な主体と連携し, 次年度以降の施策展開も視野に入れながら, 観光振興に資する取組を推進した。</p> <p>・名誉市民水木しげるさんの御功績を称え, 広く市民と偲ぶ取組である「ゲゲゲ忌」を, 水木プロダクションや東映アニメーション等と連携して開催し, 「水木マンガの生まれた街 調布」の推進を図った。会場である調布駅前広場をイベントエリアで分割し, 各エリア入口での検温・手指消毒, 人数把握など, 感染防止対策を徹底して実施した。</p>
①横断的連携による施策の推進	<p>■連携テーマ2「にぎわいとるおいのあるまちづくり」</p> <p>・水木プロダクション, 東映アニメーション, イオンシネマ シアタス調布等と連携し, 水木しげる氏生誕100周年を見据えた「水木マンガの生まれた街 調布」を推進した。</p>
②調布のまちの魅力発信	<p>・オンライン配信の活用や, 各種関連企業と連携したSNS等の広告媒体を活用した情報発信により, 新型コロナウイルス感染症の影響下においても, 「映画のまち調布」や「水木マンガの生まれた街 調布」など, 地域資源を活用した調布のまちのPRにつなげた。</p>
(17-3 多様な主体と連携した観光事業の推進)	<p>・新型コロナウイルス感染症の影響により, 観光振興施策の推進が困難な状況であったが, 創意工夫を講じて実施可能な事業について, 感染防止策を徹底して取り組んだほか, 観光振興の中心的な役割を担う観光協会をはじめ, 多様な主体と連携し, 次年度以降の施策展開も視野に入れながら, 観光振興に資する取組を推進した。</p>
①横断的連携による施策の推進	<p>■連携テーマ2「にぎわいとるおいのあるまちづくり」</p> <p>・観光協会との連携を中心に, 深大寺をはじめとする寺社仏閣や, 京王電鉄を核とした沿線他市との連携, 東京観光財団の協力によるオンラインツアーの実施など, 既存の観光事業の出来る限りの継続に努める中で, 多様な主体と連携した新たな事業にも取り組んだ。</p>
②調布のまちの魅力発信	<p>・新型コロナウイルス感染症の影響により, 発信機会は減少したが, 観光協会の公式ホームページや市のホーム</p>

ページをはじめ、フェイスブックやツイッターなどのSNSによる情報発信を行った。

<令和2年度における施策の成果についての総括>

新型コロナウイルス感染症の影響により、観光振興施策の推進が困難な状況であったが、多くの事業が中止となる中、創意工夫や感染防止策の徹底をしながら、実施可能な事業に取り組んだほか、観光振興の中心的な役割を担う調布市観光協会をはじめ、多様な主体と連携し、次年度以降の施策展開も視野に入れながら、観光振興に資する取組を推進し、にぎわいの創出に努めた。

「映画のまち調布」の推進では、観光庁の補助金を活用した新たなロケツーリズムコンテンツの制作に取り組んだほか、引き続き、他自治体と連携したフィルムコミッション事業によるロケツーリズムの推進に取り組んだ。また、今年度独自の取組として、昭和48年から調布市に拠点を移し、活動を続けてきた石原プロモーションが令和3年1月16日に解散したことを受けて、感謝の思いを込め、石原プロモーション制作のドラマや映画・音楽に関連した展示、グッズの販売等を行った。

「水木マンガの生まれた街 調布」の推進については、名誉市民水木しげるさんの御功績を称え、広く市民と偲ぶ取組である「ゲゲゲ忍」を、感染防止策を徹底した上で、水木プロダクションや東映アニメーション等と連携して開催した。

その他にも、オンライン配信の活用や、各種関連企業と連携したSNS等の広告媒体を活用した情報発信により、新型コロナウイルス感染症の影響下においても、「映画のまち調布」や「水木マンガの生まれた街 調布」など、地域資源を活用した調布のまちのPRにつなげたほか、観光協会との連携を中心に、深大寺をはじめとする寺社仏閣や、京王電鉄を核とした沿線他市との連携、東京観光財団の協力によるオンラインツアーの実施など、既存の観光事業の出来る限りの継続に努める中で、新たな事業にも取り組んだ。

今後に向けては、新型コロナウイルス感染症の収束状況を見極め、既存のコンテンツの磨き上げや新しい生活様式に対応したオンラインを活用した事業展開など、観光協会をはじめとする多様な主体と連携して、創意工夫を施した事業展開を図り、調布の観光PRにつながる取組の推進による観光産業の回復・にぎわいの創出に努めていくことが必要である。

まちづくり指標	基準値 (基準年度)	単位	実績値		目標値
			令和元年度	令和2年度	令和4年度
1 「映画のまち調布（映画・映像を"つくる・楽しむ・学ぶ"まち）」を進める取組に満足している市民の割合	69.0 (H30)	%	75.7	78.2	75.0
2 観光案内所への来所者数	8万 1,815 (H29)	人	9万 8,579	2万 8,683	10万
3 調布市観光協会発信のSNSのフォロワー数	6,005 (H30)	人	7,000	7,600	1万
【特記事項】					

2 基本計画事業取組実績

計画コード	56	重点P	④	にぎわいと交流のある活気に満ちたまち
事務事業	「映画のまち調布」の推進			
所管部署	生活文化スポーツ部・産業振興課・商業観光係			
活動内容	計画目標	令和2年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
活動内容	○市内映画・映像関連の地域資源を活用した観光・文化・産業などの分野における地域活性化の促進	○フィルムコミッション事業の推進 ○ロゴマークの活用、促進 ○映画関連イベントの実施 ○市内映画・映像関連企業との連携した地域活性化の取組 ○広域連携によるロケツーリズムの推進	○フィルムコミッション事業の推進 ○ロゴマークの活用、促進 ○映画関連イベントの実施 ○市内映画・映像関連企業との連携した地域活性化の取組 ○広域連携によるロケツーリズムの推進	○フィルムコミッション事業の推進 ○ロゴマークの活用、促進 ○映画関連イベントの実施 ○市内映画・映像関連企業との連携した地域活性化の取組 ○ロケツーリズムの推進
	事業費 (千円)	13,763	14,727	33,401
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0

(施策 17 魅力ある観光の振興)

計画コード	57	重点P	-	-
事務事業	調布市観光協会事業の促進			
所管部署	生活文化スポーツ部・産業振興課・商業観光係			
活動内容	計画目標	令和2年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○観光協会の運営支援と市がパイプ役となり観光協会と他団体との連携を図ることにより観光事業を振興する	○観光協会の運営支援（観光協会事業の実施） ・東京2020大会等を契機とした観光振興	○観光協会の運営支援（観光協会事業の実施） ・東京2020大会等を契機とした観光振興※	○観光協会の運営支援（観光協会事業の実施）
	事業費（千円）	20,918	28,642	25,112
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0

18 都市農業の推進			
主管課名	生活文化スポーツ部 農政課		
主管課長名	元木 勇治	電話番号	042-481-7586
関係課名 (組織順)	環境政策課, 緑と公園課, 都市計画課, 指導室, 学務課		
目的	対象	農業者, 農地, 市民	
	意図	安全でおいしい農産物を生産し, 市民がそれを消費することができる 農地を保全する 市民が農業とふれあい, 都市農業への理解を深めることができる	
施策の方向	農業経営の安定化や後継者の育成を支援し, 新鮮な農産物の供給や農地の保全・活用を図るとともに, 地産地消や農業体験など, 多様な役割を有する都市農業を推進します。		

< 施策と関連するSDGsの目標（ゴール） >



1 令和2年度の振り返り — 取組実績 (DO)

施策の成果向上に向けた主な取組実績	
施策における2つのアクション (①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信)	
<p>(18-1 いきいきとした農業経営)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市が認定した認定農業者又は農業経営に意欲のある農業者に対し, 農業経営の改善を図るために実施するビニールハウスなどの農業用資機材の整備, 購入費用の一部を助成する, 都市農業育成対策事業補助制度を活用した支援を, 33件実施した。 東京都の補助事業である都市農業活性化支援事業を活用し, 認定農業者などが行う農業用施設整備等の事業に対する補助を実施することで, 農業者の経営改善への取組を支援し, 農業経営力の強化を図った。 市民ニーズが高い, 新鮮で環境に配慮した安全, 安心な農産物の生産・供給を推進するため, マインズ農業協同組合と連携し, 希望する110軒の販売農家に対して耕作面積に応じて有機質肥料を配付した。 	<p>①横断的連携による施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業者が安心して農業を継続できるよう, 国, 東京都, 農協, 農業委員会などと連携し事業を推進した。 ■連携テーマ2 「にぎわいとるおいのあるまちづくり」 にぎわいとるおいのあるまちづくりとして, 環境に配慮した栽培を推進する農業者に対し有機質肥料の配付を行い, 市民ニーズの高い新鮮で環境に配慮した安全, 安心な農産物の生産・供給を推進した。 意欲ある農業者を支援するため, 国・東京都等の各種補助金の周知, 活用を促進し, 農業経営を支援した。 <p>②調布のまちの魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市農業の振興により, 安全, 安心で新鮮な農産物の供給につながった。
<p>(18-2 農のある地域づくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの紙による直売所の案内に加えて, デジタル技術を導入・活用して直売所マップを電子化し, スマートフォンでQRコードを読み込むことで地図アプリでの直売所までのルート案内機能を使えるようにするなど, 農産物直売所マップをリニューアルし, 直売所の利用促進を図った。 新鮮で安全, 安心な調布産の農産物を販売しているマインズ農業協同組合直売会や市内農家の直売所を支援し, 地産地消を促進した。 多様な農業体験の場として, 飛田給駅近くに新規開設した農業体験ファームを含む農業体験ファーム6園206区画の管理運営を支援したほか, 市民農園として市内の計12園567区画(令和3年3月31日現在)を市民に提供するなど市民が農業にふれあえる場の確保に努めた。 学童農園, ふれあい体験農園の事業を通じて, 新型コロナウイルスの感染予防対策を講じながら, 農業者と市民との協働, 農業体験の参加者同士の交流など, 農業を通じたコミュニティ形成や食育の推進を図った。 学校における食育の推進として, 市内産農産物を活用した給食の提供や, 学校農園, 社会科見学などの授業で, 農家の方から市内農産物について学ぶ取組を継続して実施した。 新型コロナウイルスの感染症の影響を受け, 市民と農業者との交流や農産物の品質向上などを図る調布市農業まつりが中止となった。 	<p>①横断的連携による施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 食育の推進については, 教育委員会や学校など, 関係部署と連携強化を図った。 ■連携テーマ1 地域共生社会の実現に向けた取組 学童農園やふれあい体験農園の事業を通じて, 農業者と市民との協働, 農業体験の参加者同士の交流など, 農業を通じたコミュニティ形成や食育を推進した。 ■連携テーマ2 「にぎわいとるおいのあるまちづくり」 新鮮で安全, 安心な調布産の農産物を販売しているマインズ農業協同組合直売会などを支援し, 地産地消を促進した。

②調布のまちの魅力発信

・農のある地域づくりを推進することで、食育や環境教育の場となるだけでなく、生活環境にうるおいとやすらぎを与え、良好な住環境の形成が図られた。

(18-3 農地の保全・活用)

・都市農地は、安全、安心で新鮮な農産物を供給する場であるだけでなく、災害時における避難場所となること、生活にうるおいとやすらぎを与え良好な住環境を形成すること、食育や環境教育の場となること等多面的な機能を有していることから、都市農地の保全に努めるため、生産緑地地区の追加指定を推進した（7件、0.205ha）。

また、市が維持管理する水路について、市内に残る水田に必要な農業用水を確保するため、維持保全作業を行った5つの水利組合に対し、農業用水路しゅんせつ事業により、保全作業の費用を助成した。

・農園主が主体となって実施する農業体験ファームの運営に対する支援を行い、良好な農地の保全・活用を図った。

・東京都の補助事業である、都市農地保全支援プロジェクトを活用し、防災兼農業用井戸の設置や、土砂の流出を防ぐ土留め設置事業等、農地の持つ防災機能の強化や地域住民に配慮した基盤整備事業に対して補助を行うことで、貴重な都市農地の保全を図った。

・里山の保全と活用では、調布市深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画に沿って、豊かな自然環境や風景を保全・活用する取組について、関係部署と連携し、活用方法の検討に取り組んだ。

①横断的連携による施策の推進

・関係部署と連携して令和2年度からスタートした調布市農業振興計画の推進に努めた。

■連携テーマ2 「にぎわいとうるおいのあるまちづくり」

・市報、ホームページ、農業マップなどを活用して農地の多面的機能のPRを進めた。

②調布のまちの魅力発信

・都市農業・農地の保全により、都市農地が有する防災機能や景観形成等の保全にもつなげることができた。

(18-4 都市農業振興に向けた推進体制づくり)

・都市農業振興基本法を踏まえ、計画的な都市農業の振興を円滑に推進するため、いきいきとした農業経営、農のある地域づくり、農地の保全・活用の3つの基本方針を定めた調布市農業振興計画（計画期間：令和2年度～令和11年度）を推進した。

①横断的連携による施策の推進

・庁内横断的連携により、調布市農業振興計画を推進した。

■連携テーマ2 「にぎわいとうるおいのあるまちづくり」

・農のあるまちづくりを推進した。

②調布のまちの魅力発信

・調布市農業振興計画を策定し、農業者、農協をはじめとする多様な主体との連携体制づくりを推進することで、各事業の効果を高めることにつながった。

<令和2年度における施策の成果についての総括>

・農業経営の改善を図るため、認定農業者及び農業経営に意欲ある農業者に対し、都市農業育成対策事業を活用し、農業用資機材の費用の一部を助成することで、農業経営を支援した。

・東京都の補助事業である都市農業活性化支援事業を活用し、認定農業者などが行う農業用施設整備等の事業に対して補助することで、農業者の経営改善への取組を支援し、農業経営力の強化を図った。

・東京都の補助事業である都市農地保全支援プロジェクトを活用し、防災兼用農業用井戸の設置や土砂の流出を防ぐ土留め設置事業等、農地の持つ防災機能の強化や地域住民に配慮した基盤整備事業に対して補助を行うことで、都市農地の保全を図った。

・市民が農業や農家と交流する場である農業体験ファーム6園の管理運営に対する支援により、生産緑地の保全・活用を図った。また、新型コロナウイルスの感染予防対策を講じながら、市民農園、ふれあい体験農園、農業体験ファームなど多様な農業体験事業を実施した。

・農産物を販売しているマインズ農業協同組合直売会や、市内農家の直売所への支援を通じて地産地消の促進に取り組んだ。

・学校における食育の推進として、市内産農産物を活用した給食の提供や学校農園、社会見学などの授業で農家の方から市内農産物について学ぶ取組を継続して実施した。

・都市農地の保全を図るため、新たな生産緑地地区の指定に取り組み、7件、0.205haを追加指定した。

・都市農地の保全・活用に関する新たな取組として、平成30年9月1日に施行された「都市農地の貸借の円滑化に関する法律」に基づき、この制度を活用した農業体験ファームが飛田給駅近くに開設するなど、耕作が難しくなった生産緑地について、市内農家への貸借につなげ、都市農地の保全・活用を図った。

・令和2年度からスタートさせた調布市農業振興計画に基づき、コロナ禍で利用が増加している直売所について、従来の紙媒体の農産物直売所マップの発行に加え、マップに付記したQRコードをスマートフォンで読み込むことで、直売所までのルートを案内する機能を備えることにより、市内直売所の利用促進に向けた情報発信を図るなど、計画の円滑な推進に取り組んだ。

まちづくり指標	基準値 (基準年度)	単位	実績値		目標値 令和4年度
			令和元年度	令和2年度	
1 認定農業者の人数	55 (H30)	人	58	60	70
2 多様な農業体験の場の新規開設数 (目標値は、令和元～4年度の4箇年累計)	0 (H30)	園	0	1	2

3 生産緑地地区の年間追加指定件数 (目標値は、令和元～4年度の4箇年累計)	7 (H30)	件	8	7	20
4 市内農家の農産物直売所を利用している市民の割合	56.0 (H30)	%	55.8	52.7	60.0

【特記事項】

・コロナ禍で利用が増加している直売所について、市内農家の農産物直売所を利用している市民の割合は減となったが、従来の紙媒体の農産物直売所マップの発行に加え、マップに付記したQRコードをスマートフォンで読み込むことで、直売所までのルート案内機能を備えることにより、市内直売所の利用促進に向けた情報発信に取り組んだ。

2 基本計画事業取組実績

計画コード	58	重点P	-	-
事務事業	農業経営の支援			
所管部署	生活文化スポーツ部・農政課・農政係			
活動内容	計画目標	令和2年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○「都市農業活性化支援事業」を活用した営農集団の支援 ○「都市農業育成対策事業」を活用した意欲ある農業者等の支援	○農業振興計画の推進 ○「都市農業育成対策事業」を活用した農業者への支援 ○「都市農業活性化支援事業」を活用した営農団体への支援 ○有機栽培の促進 ○観光農園事業の支援 ○農業生産者団体への育成支援 ○農業用水路しゅんせつ事業の支援 ○「都市農地保全支援プロジェクト」を活用した防災機能の強化、地域、環境に配慮した基盤整備支援(再掲) ○特定生産緑地の指定に向けた取組(再掲)	○農業振興計画の推進 ○「都市農業育成対策事業」を活用した農業者への支援 ○「都市農業活性化支援事業」を活用した営農団体への支援 ○有機栽培の促進 ○観光農園事業の支援 ○農業生産者団体への育成支援 ○農業用水路しゅんせつ事業の支援 ○「都市農地保全支援プロジェクト」を活用した防災機能の強化、地域、環境に配慮した基盤整備支援(再掲) ○特定生産緑地の指定に向けた取組(再掲)	○農業振興計画の推進 ○「都市農業育成対策事業」を活用した農業者への支援 ○「都市農業活性化支援事業」を活用した営農団体への支援 ○有機栽培の促進 ○観光農園事業の支援 ○農業生産者団体への支援 ○農業用水路しゅんせつ事業の支援 ○「都市農地保全支援プロジェクト」を活用した防災機能の強化、地域、環境に配慮した基盤整備支援(再掲) ○特定生産緑地の指定に向けた取組(再掲)
	事業費(千円)	13,360	39,188	34,930
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0

計画コード	59	重点P	-	-
事務事業	多様な農業体験の場づくり			
所管部署	生活文化スポーツ部・農政課・農政係			
活動内容	計画目標	令和2年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○農業体験ファームの運営補助 ○新規農業体験ファームの開設に向けた農地の確保 ○農業体験ファームの施設整備に対する補助	○市民農園の推進 ○農業体験ファームの推進 ○ふれあい体験農園の推進 ○学童農園の推進	○市民農園の推進 ○農業体験ファームの推進 ○ふれあい体験農園の推進 ○学童農園の推進	○市民農園の推進 ○農業体験ファームの推進 ○ふれあい体験農園の推進 ○学童農園の推進
	事業費(千円)	13,594	13,270	12,306
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0

計画コード	60	重点P	⑤	人と自然が共生するうるおいのあるまち
事務事業	都市農地の保全・活用			
所管部署	生活文化スポーツ部・農政課			
活動内容	計画目標 ○都市農地の保全 ○里山の保全と活用	令和2年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
		○「都市農地保全支援プロジェクト」を活用した防災機能の強化、地域、環境に配慮した基盤整備支援 ○特定生産緑地の指定に向けた取組 ○農業振興計画の推進（再掲） ○市民農園の推進（再掲） ○農業体験ファームの推進（再掲） ○ふれあい体験農園の推進（再掲） ○学童農園の推進（再掲）	○「都市農地保全支援プロジェクト」を活用した防災機能の強化、地域、環境に配慮した基盤整備支援 ○特定生産緑地の指定に向けた取組 ○農業振興計画の推進（再掲） ○市民農園の推進（再掲） ○農業体験ファームの推進（再掲） ○ふれあい体験農園の推進（再掲） ○学童農園の推進（再掲）	○「都市農地保全支援プロジェクト」を活用した防災機能の強化、地域、環境に配慮した基盤整備支援 ○特定生産緑地の指定に向けた取組 ○農業振興計画の推進（再掲） ○市民農園の推進（再掲） ○農業体験ファームの推進（再掲） ○ふれあい体験農園の推進（再掲） ○学童農園の推進（再掲）
	事業費（千円）	9,950	22,353	9,925
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0

19 芸術・文化の振興			
主管課名	生活文化スポーツ部 文化生涯学習課		
主管課長名	佐々木 淳	電話番号	042-481-7541
関係課名 （組織順）	協働推進課, 産業振興課, 環境政策課, 社会教育課, 公民館, 図書館, 郷土博物館		
目的	対象	市民	
	意図	芸術・文化に触れる機会が提供され, 芸術・文化活動が活発になる	
施策の方向	市民が芸術・文化を日常的に身近なものとして楽しみ, また, 自らいきいきと芸術・文化活動を行えるような環境を整備することにより, 文化の香り高い, 市民文化をはぐくむまちづくりを進めます。		

< 施策と関連するSDGsの目標（ゴール） >



1 令和2年度の振り返り — 取組実績（DO）

施策の成果向上に向けた主な取組実績	
<p align="center">施策における2つのアクション（①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信）</p> <p>（19-1 市民の芸術・文化活動の促進）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」に基づき, 市民が芸術・文化と触れる機会の提供と自ら芸術・文化活動を行える環境づくりのため, (公財)調布市文化・コミュニティ振興財団や調布市文化協会をはじめとする市民団体, 事業者など多様な主体と連携しながら, コロナ禍においても音楽や演劇など様々な事業を可能な限り実施した。 ・(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団では, 感染防止対策を徹底したうえで, オンラインを活用した映像配信・ワークショップの実施など, 工夫を凝らしながら「調布国際音楽祭」「調布市民文化祭」「映画のまち調布 シネマフェスティバル 2020」をはじめとする各種取組を展開した。 <p>①横断的連携による施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」に沿った市民の芸術・文化活動の促進・支援においては, 産業, スポーツ, 国際交流, 教育, 福祉など幅広い分野との連携や地域固有の文化資源の活用を図りながら, 各種取組を展開した。 ・(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団では, 文化施設3館（文化会館づくり, グリーンホール, せんがわ劇場）に加え, 郷土博物館や武者小路実篤記念館とも事業展開において連携を図った。 ■連携テーマ2 「にぎわいとるおいのあるまちづくり」 ・市民の安全確保を第一としつつ, 市内の活気やにぎわいを創出し, うるおいや安らぎをもたらす市民の芸術・文化活動の促進・支援に努めた。 ■連携テーマ3 「2019年・2020年を契機としたレガシーの創出」 ・(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団では, 2019年・2020年に向けた財団独自の次世代継承のテーマとして「100年後の君へ。」を掲げ, 深大寺とゆかりの深い能楽を様々な角度から取りあげる「調布能楽オッセイ」や, 廃材・端材を活用してアート作品をつくる「クリエイティブリユースでアート!」について, これまで積み重ねてきた取組の集大成として実施した。 ■連携テーマ4 「パラリンピックレガシーの創出」 ・(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団では, 共生社会の推進をテーマとして, 文化会館づくり, グリーンホール, せんがわ劇場を一体的に活用した「調布・巡る・アートプロジェクト」を開催し, 各館に展示した現代アート作品を巡ることでアートに触れる機会の創出を図るとともに, 市内福祉作業所等と連携したオンラインワークショップを実施した。 ・市内の福祉作業所等で活動する方々のアート作品を展示する「パラアート展」については, 新型コロナウイルスの影響及び東京2020大会の開催延期に伴い中止したが, 「調布・巡る・アートプロジェクト」において, パラアート展の過去作品を展示した。あわせて, 令和元年度のパラアート展関連ワークショップにおいて制作したアートデザイン及び市の「パラハートちょうふ」のロゴを使用して, “調布駅前商店街”・“調布駅前から盛り上げる会”がエコバックを制作したことから, 「調布・巡る・アートプロジェクト」の中で実施したデジタルスタンプラリー参加店舗においてエコバックの販売を行い, 「パラハートちょうふ」の普及啓発につなげた。 <p>②調布のまちの魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「バッハ・コレギウム・ジャパン」との連携による調布国際音楽祭について, 有観客での公演を全て中止し, 「@調布国際音楽祭」としてオンラインで実施し, 世界中から参加した100人の音楽家による「第九」の演奏をはじめ, 午前・午後・夜間の1日3回, 計23本のプログラムを配信し, 国内外からの視聴があった。 ・調布シネマフェスティバルについて, 大幅な規模縮小を余儀なくされたが, オンライン配信による「映画のまち調布賞」授賞式, シアタス調布と連携した各種上映・イベントを実施したほか, 調布市を拠点に活動してきた石原プロモーションの解散を受け, 石原プロモーション制作のドラマや映画・音楽に関連した展示を行うなど, 「映画のまち調布」ならではの特色あるイベントとして開催した。 	

(19-2 芸術・文化施設の整備・運営)

・市の文化施設について、新型コロナウイルスの影響により、令和2年4月1日から5月31日まで利用停止、令和3年1月12日から3月21日まで夜間区分を利用停止したほか、利用人数等の制限や施設利用キャンセルに伴う利用料金の還付を行った。

・指定管理者との定期的な会議や日常的な情報共有により、利用者の立場に立ち、安全、安心かつ清潔で快適な施設を目指した運営を行う中で、感染拡大防止対策を講じたうえで市民が安心して文化活動を楽しめる環境づくりに努めた。

・公共建築物維持保全計画に基づき、施設の計画的な整備・維持管理を実施した。文化会館たづくりでは、令和3年度からの施設更新型E S C O事業の実施に向けた準備を進めた。

・施設におけるバリアフリーの推進について、文化会館たづくりで、トイレの洋式化を3箇所で行ったほか、グリーンホールで、大ホールのリハーサル室側の階段に手すりを設置するなどの改修を行った。

・グリーンホールの更新を見据えた取組については、ホールの整備及び運営に関する専門的知見を有するコンサルタントからの支援を受け、ホール機能及び規模の検討を行うとともに、先進事例となる他自治体ホールの視察を行ったほか、令和3年度に実施する、市の整備に関する考え方の検討に向けた庁内横断的な情報共有・準備に取り組んだ。

①横断的連携による施策の推進

・令和元年台風19号を踏まえた対応として、風水害時における避難所運営マニュアルの策定に向け、防災部門や(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団と連携し、文化会館たづくり及びグリーンホールにおいて避難所開設訓練を行った。

■連携テーマ3 「2019年・2020年を契機としたレガシーの創出」

・文化会館たづくり1階エントランス壁面を「たづくりアスリートワンダーウォール!」としてラッピングし、機運醸成を図った。4回目となる令和2年度は、東京スタジアム、武蔵野の森スポーツプラザで行われる競技について、多角形平面構成のイラストで表現した。

■連携テーマ4 「パラリンピックレガシーの創出」

・(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団では、国籍、年齢、性別、障害の有無などを問わず、全ての人が芸術・文化に親しむことができる施設となることを目指し、「パラ劇場」研修を実施した。令和2年度は、障害のある人が出演者となる場合を想定し、健常者と障害者による舞台公演を行っている劇団の演出家や出演俳優を招いてワークショップを実施した。また、当該公演を実際に上演し、障害者や支援者の招待及び鑑賞サポートの実施を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により中止となった。

②調布のまちの魅力発信

・文化会館たづくり、グリーンホール、せんがわ劇場、それぞれの特色や地域性を生かしつつ、3館の連携によるスケールメリットを生み出すなど、市内の芸術文化の一層の発展に向けた環境づくりに取り組んだ。

<令和2年度における施策の成果についての総括>

・コロナ禍においても多様な主体との連携の下、オンラインを活用した映像配信・ワークショップの実施など、工夫を凝らしながら、可能な限り「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」に沿った市民の芸術・文化活動の促進・支援を図った。

・(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団が共生社会の推進をテーマとして実施した「調布・巡る・アートプロジェクト」において、パラアート展の過去作品を展示するとともに、東京2020大会を契機として共生社会の重要性を発信する「パラハートちょうふ」の取組について普及啓発を図った。

・新型コロナウイルスの影響により、施設の利用停止、利用人数等の制限や施設利用キャンセルに伴う利用料金の還付等を行った一方で、感染拡大防止対策を徹底し、市民が安心して活動できる環境づくりに努めた。

・(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団では、窓口での対応やアンケートなど多様な手段を通じて、利用者の声の反映に努めながら、安全、安心かつ清潔で快適な施設を目指した運営を行い、利用者アンケートにおける文化施設3館の満足度は97.4%となった。

・グリーンホールの今後の更新を見据えた取組については、令和3年度での市の整備に関する考え方の検討に向けた庁内横断的な情報共有・準備に取り組んだ。

まちづくり指標	基準値 (基準年度)	単位	実績値		目標値
			令和元年度	令和2年度	令和4年度
1 1年間で芸術文化を鑑賞、または自ら芸術文化活動を行った市民のうち、市内公共施設を利用した市民の割合	53.9 (H30)	%	51.1	42.6	60.0
2 文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場の施設利用率(ホール系・会議室系)(上段:ホール系, 下段:会議室系)	84.9 78.1 (H29)	%	85.0 79.8	62.5 64.5	87.0 80.0

【特記事項】施設利用率について、緊急事態宣言中の施設利用停止分は含まず(分母に入れず)算出している。

2 基本計画事業取組実績

計画コード	61	重点P	-	-
事務事業	芸術・文化事業の実施			
所管部署	生活文化スポーツ部・文化生涯学習課・文化生涯学習係			
活動内容	計画目標	令和2年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
活動内容	○指定管理者である(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団による、文化会館づくり、グリーンホールにおける「芸術振興事業」、「施設管理運営」等指定管理事業の実施 ○財団による独自、共催事業の実施	○文化会館づくり指定管理事業 ○グリーンホール指定管理事業 ○せんがわ劇場指定管理事業 ○財団独自・共催事業 ○東京2020大会等の機会を捉えた「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり」の推進 ・東京2020大会と連動した文化プログラムの実施	○文化会館づくり指定管理事業 ○グリーンホール指定管理事業 ○せんがわ劇場指定管理事業 ○財団独自・共催事業 ○東京2020大会等の機会を捉えた「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり」の推進 ・東京2020大会と連動した文化プログラムの実施	○文化会館づくり指定管理事業 ○グリーンホール指定管理事業 ○せんがわ劇場指定管理事業 ○財団独自・共催事業 ○東京2020大会等の機会を捉えた「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり」の推進 ・東京2020大会と連動した文化プログラムの実施
		事業費(千円)	1,209,699	1,236,473
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0
計画コード	62	重点P	-	-
事務事業	芸術・文化施設の維持・補修			
所管部署	生活文化スポーツ部・文化生涯学習課・文化生涯学習係			
活動内容	計画目標	令和2年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
活動内容	○「調布市公共施設等総合管理計画」に基づいた施設維持のための改修を実施。 ○「調布市基本計画」に基づき、各施設改修工事、グリーンホール及び文化会館づくりの特定天井改修を実施。	○文化会館づくり施設改修工事等 ○グリーンホール施設改修工事等 ○せんがわ劇場施設改修工事等 ○グリーンホール特定天井改修・空調機更新	○文化会館づくり施設改修工事等 ○グリーンホール施設改修工事等 ○せんがわ劇場施設改修工事等 ○グリーンホール空調機更新 ○グリーンホール特定天井改修検討	○文化会館づくり施設改修工事等 ○グリーンホール施設改修工事等 ○せんがわ劇場施設改修工事等 ○グリーンホール空調機更新 ○グリーンホール天井地下部材等調査
		事業費(千円)	223,588	99,744
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0

20 地域ゆかりの文化の保存と継承			
主管課名	教育部 郷土博物館		
主管課長名	福澤 明	電話番号	042-481-7656
関係課名 (組織順)	総務課, 環境政策課, 緑と公園課, 都市計画課, 指導室, 社会教育課, 公民館, 図書館		
目的	対象	市民, 文化遺産	
	意図	文化遺産や伝統を次世代に伝え, 郷土への愛着をはぐくむ, 文化遺産を保存し, 学習素材やまちづくりに活用する	
施策の方向	地域ゆかりの文化資源や歴史・文化遺産を保存・活用することにより, 次の世代に継承し, ふるさと調布に対する愛着を育みます。		

< 施策と関連するSDGsの目標（ゴール） >



1 令和2年度の振り返り — 取組実績 (DO)

施策の成果向上に向けた主な取組実績	
施策における2つのアクション (①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信)	
<p>(20-1 史跡・文化財の保存及び活用)</p> <ul style="list-style-type: none"> 史跡整備に向けた基本方針等を定めた史跡下布田遺跡整備基本計画を策定した。 史跡下布田遺跡整備基本計画の策定に当たり, 「史跡下布田遺跡整備基本計画策定委員会」, 史跡整備市民ワークショップ, 市民説明会, パブリック・コメント手続を実施し, 有識者及び市民意見を計画に反映した。 史跡内の学術調査を実施し, 重要地点についての調査成果を得た。 	
<p>①横断的連携による施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 国史跡下布田遺跡の整備・活用を推進するため, 学識経験者・市民・関連団体・市等で構成する「史跡下布田遺跡整備基本計画策定委員会」において検討を重ねたほか, ワークショップや市民説明会など各種市民参加手続を実施し, 「史跡下布田遺跡整備基本計画」を取りまとめた。 文化遺産の保存・活用のため, 関係団体等と連携し深大寺所蔵文書の調査を行った。 <p>■連携テーマ2 「にぎわいとつながりのあるまちづくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> 国庫補助事業として文化庁・東京都・深大寺との連携の下, 深大寺所蔵の近代文書等についての調査を実施し, 深大寺の文化遺産についての保存・活用を推進した。 	
<p>②調布のまちの魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校との連携として, 史跡の理解・愛着を深める総合学習に, 下布田遺跡近隣の小学校と通年で取り組んだ。 その他, 市内にある遺跡に関する出前授業を市内中学校向けに実施し, 遺跡への理解を深めた。 	
<p>(20-2 地域ゆかりの文化を生かした事業の展開)</p> <ul style="list-style-type: none"> 武者小路実篤記念館において, 特別展, 企画展を幅広い内容で開催することで, 新たな来館者の獲得や記念館の認知度の向上を図った。 「白樺」創刊110年を記念して秋の特別展を開催し, 日本の近代美術に大きく影響を与えることとなる「白樺」の美術活動を紹介した。 深大寺所蔵の「慈恵大師座像」が東京都から文化財指定を受けたことを記念して, 企画展「深大寺の元三大師」を開催した。 図書館では, 「地域」や「映画」の資料を収集し, 利用に供するとともに, 保存のためのデジタル化を行った。また, 館内では「水木しげる氏関連資料」の展示のほか, 「映画のまち調布シネマ・フェスティバル」では, 映画資料室に調布賞のパネルを展示した。 	
<p>①横断的連携による施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京2020大会の機運醸成のため, 展示事業を実施した。 <p>■連携テーマ3 「2019年・2020年を契機としたレガシーの創出」</p> <ul style="list-style-type: none"> 郷土博物館において企画展「1964年東京オリンピックを振り返る～収蔵品を中心に～」を開催した。 武者小路実篤が昭和11年にベルリンオリンピックを現地で観戦したこと, 昭和39年の東京大会に感動した様子を紹介した企画展「実篤, 欧米へ行くーベルリン観戦と美術行脚ー」を武者小路実篤記念館において開催した。 	
<p>②調布のまちの魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 郷土博物館公式 Twitter を開設し, イベント・展示情報や自宅で楽しめる市内の歴史・文化に関する情報等を発信した。 	

<令和2年度における施策の成果についての総括>

- ・下布田遺跡についての整備基本計画策定委員会の開催及びワークショップ、市民説明会、パブリック・コメント手続の実施により、有識者や市民意見を取り入れた整備基本計画を策定することができた。
- ・例年開催している郷土学習展において、通常は郷土博物館で実施している内容を、新型コロナウイルスの感染拡大防止を考慮し、職員が市内の小学校へ出向き、出前授業として実施することで、子どもたちにおいて郷土の歴史や文化を学ぶ機会を確保することができた。
- ・武者小路実篤記念館において継続的な展示事業の実施や、「白樺」創刊110年を記念した展示を開催したことを通じて、武者小路実篤に対する市民の理解の向上、記念館の周知を図ることができた。

まちづくり指標	基準値 (基準年度)	単位	実績値		目標値
			令和元年度	令和2年度	令和4年度
1 文化遺産の数(国・都・市指定等文化財)	74 (H29)	件	76	77	79件
2 郷土博物館・実篤記念館の合計入館者数(実篤公園利用者含む) (基準値は、平成25～29年度の平均値)	5万 1,292	人	4万 6,033	3万 3,273	5万 5,000
【特記事項】 ・施設の入館者数については、コロナ禍の影響に伴う臨時休館や事業の中止、縮小の影響により大幅に減少した。					

2 基本計画事業取組実績

計画コード	63	重点P	—	—
事務事業	国史跡下布田遺跡の整備・活用			
所管部署	教育部・郷土博物館・文化財係			
活動内容	計画目標	令和2年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
活動内容	○整備基本計画策定 ○整備基本計画策定委員会の開催 ○市民ワークショップ実施 ○市民説明会、パブリック・コメント手続実施 ○学校連携事業の実施 ○史跡内学術調査の実施 ○地権者交渉(用地取得) ○用地取得 ○史跡の保存管理と周知	○保存・整備に関する検討 ○史跡の保存管理と周知 ○史跡整備基本計画の策定	○保存・整備に関する検討 ○史跡の保存管理と周知 ○史跡整備基本計画の策定・報告書の刊行	○保存・整備に関する検討 ○史跡の保存管理と周知 ○史跡整備基本計画の策定・報告書の刊行
	事業費(千円)	8,830	8,085	9,298
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0

計画コード	64	重点P	—	—
事務事業	郷土の歴史・文化を核とした展示・普及事業の推進			
所管部署	教育部・郷土博物館・事業管理係			
活動内容	計画目標	令和2年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
活動内容	○展示・普及事業の推進 ○「子どもはくぶつかん」の推進 ○学習機会についての情報発信 ○学校教育連携事業の推進	○展示・普及事業の実施・オリンピック・パラリンピック関連事業の実施 ○「子どもはくぶつかん」の実施 ○学習機会についての情報発信 ○学校教育連携事業の実施	○展示・普及事業の実施・オリンピック・パラリンピック関連事業の実施 ○「子どもはくぶつかん」の実施※ ○学習機会についての情報発信 ○学校教育連携事業の実施	○展示・普及事業の実施・オリンピック・パラリンピック関連事業の実施 (東京2020公認プログラム企画展1回) ○学習機会についての情報発信 ○学校教育連携事業の実施(延べ56校)
	事業費(千円)	4,342	3,431	2,556
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0

計画コード	65	重点P	-	-
事務事業	武者小路実篤を核とした特色ある事業の展開			
所管部署	教育部・郷土博物館・事業管理係			
活動内容	計画目標	令和2年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○展示活動の実施 ○教育・普及事業の実施 ○武者小路実篤を核とした特色ある事業を充実させ、地域教育・文化向上へ貢献し、全国へ特色ある事業の魅力を発信 ○収蔵品の整理・保存・修復、複製の制作、公開・活用 ○情報提供システムの充実	○展示活動の実施 ・オリンピック・パラリンピック関連事業の実施 ○教育・普及事業の実施 ○収蔵品の整理・保存、修復、複製の制作、公開・活用 ○情報提供システムの運営	○展示活動の実施 ・オリンピック・パラリンピック関連事業の実施 ○教育・普及事業の実施 ○収蔵品の整理・保存、修復、複製の制作、公開・活用 ○情報提供システムの運営	○展示活動の実施 (特別展1回、企画展5回、ほか4回) ・オリンピック・パラリンピック関連事業の実施 (東京2020応援プログラム特別展1回、企画展1回) ○教育・普及事業の実施 (延べ34回) ○収蔵品の整理・保存、修復、複製の制作、公開・活用 ○情報提供システムの運営
	事業費 (千円)	18,195	18,339	17,549
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0